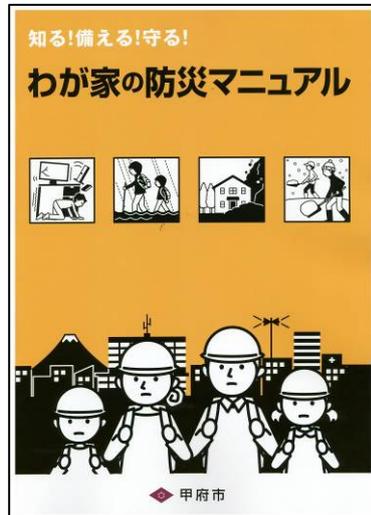


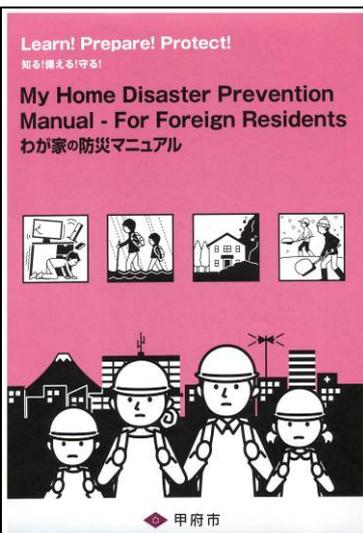
## 甲府市で多言語防災マニュアルなどを作成

外国人市民の増加で多文化共生を推進

甲府市で多言語での防災マニュアルや避難所案内板の多言語化の取組



平成 27 年度に作成した日本語版の「わが家の防災マニュアル」。このマニュアルをベースに多言語の防災マニュアルを作成した。



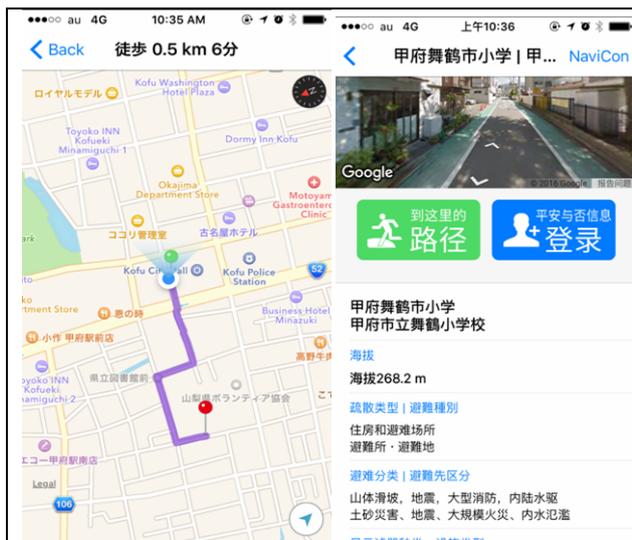
「わが家の防災マニュアル」の外国語版。

山梨県甲府市では、平成 18 年に政府が「地域における多文化共生推進プラン」を作成し、平成 19 年に山梨県が「やまなし多文化共生推進指針」を策定したことを受け、平成 21 年に「甲府市多文化共生推進計画」を策定。しかし、計画期間が平成 27 年度をもって終了することから、更なる「多文化共生のまちづくり」を推進していくために「甲府市多文化共生推進計画 2016」を新たに策定した。

日本全体で、人口が減少し、国際化の進展による外国人居住者が拡大する中、外国人市民が地域社会の一員として地域づくりに参加できるようになることが望まれている。実際、甲府市でも平成 10 年 2 月の時点で 3,598 人の在留外国人が暮らしていたが、平成 27 年 3 月には 4,782 人と 1.3 倍もの増加をみせている。そこで、甲府市は外国人市民の生活環境を整えていこうと、居住、教育、労働、医療、福祉の見直しに取り組んでいる。その一環として、過去の災害で、外国人が防災無線放送やメディアからの情報を理解できずに、逃げ遅れたり、支援物資を受け取れなかったりといった問題が生じていたことに着目。多言語の防災マニュアルの作成を決定した。

多言語の防災マニュアルは、「わが家の防災マニュアル」日本語版をベースに、外国人が知らない可能性が高い、避難所や避難地の所在、避難行動に関すること、避難所でのルール、災害の知識、注意点などの情報を中国語（簡体字）、韓国語、英語、タガログ語、ポルトガル語に翻訳。さらにやさしい日本語を併記し、イラストを交え、よりわかりやすく表現している。なお、これら 5 言語が選ばれた理由は、甲府市内にこの 5 言語を公用語としている外国人が全体の 82% を占めているからで、発行部数もその言語比率に準じた数となっている。

甲府市では、さらにスマートフォンのアプリ「全国避難所ガイド」を運営するファーストメディアと協定を締結。甲府市内で、アプリを起動すれば自動的に最寄りの避難所、避難場所を検索でき、その場所への道順を AR 表示することもできる。あわせて防災情報の配



スマートフォンのアプリ「全国避難所ガイド」の避難所を表示する画面。

甲府市の防災担当者は「外国人市民も同じ地域の一員で、災害時には地域の助け合いの精神が必要となります。そのためには、外国人市民にも防災意識を高めていただき、防災訓練への積極的な参加と、日常からの地域交流を深めていきたいと考えています。また、地震などの災害に馴れていない外国人市民も多いでしょうから、避難所でのルールや、避難行動の理解などを深める取組をさらに進めていきたい」と、今後のビジョンについて語った。

信や安否登録にも対応している。このアプリは、現在、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語の4言語に対応。2020年までには10言語に拡大する予定だという。

甲府市の多言語での防災情報発信はこれだけでなく、街中に設置されている避難場所案内板についても、日本語に加え、英語やローマ字での表記を併記するように改修を進めている。市のホームページも英語、中国語、韓国語にも対応し、ここでも多言語での防災情報を通じて、防災意識の啓発を行っている。



英語やローマ字表記の併用が進む避難場所案内板。

(平成 27 年度)

## 問い合わせ先

問い合わせ先 : 甲府市役所 企画部 危機管理室 防災課 防災係  
 電話番号 : 055-237-5331  
 メールアドレス : boutaisaku@city.kofu.lg.jp